

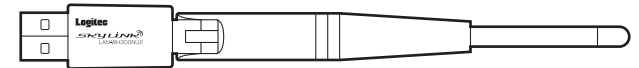


Wireless LAN Adapter

IEEE802.11n/g/b準拠 無線LANアダプタ

LAN-WH300NU2

User's Manual



●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用 語	意 味
本製品	無線LANアダプタ「LAN-WH300NU2」を称して「本製品」と表記しています。
11n/11g/11b	IEEE802.11n規格を「11n」、IEEE802.11g規格を「11g」、IEEE802.11b規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
11bgn	11n/11g/11bの略です。
無線ルータ	「無線LAN ブロードバンドルータ」を略して「無線ルータ」と表記しています。
無線AP	「無線LAN アクセスポイント」のことを略して「無線AP」と表記しています。
無線親機	無線ルータ、無線APを総称して「無線親機」と表記しています。
無線子機	無線LAN機能を内蔵したパソコン、無線アダプタを取り付けたパソコン、無線コンバータを接続した機器などを総称して「無線子機」と表記しています。また、無線アダプタ、無線コンバータそのものを「無線子機」として表記している場合があります。
有線クライアント	有線LAN機能または有線LANアダプタを搭載したパソコンなどを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記 号	意 味
 注意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバ、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTP サイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、ロジテック株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- Microsoft、Windows Vista、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略させていただきました。

IEEE802.11n/g/b 準拠 無線LAN アダプタ

LAN-WH300NU2

User's Manual

ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、ロジテックのIEEE802.11n/g/b 準拠 無線LAN アダプタをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには、無線LAN アダプタを使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が無線LAN アダプタを安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

 警 告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
 注 意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

警 告

-  本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。
-  本製品を取り付けたパソコン本体から発煙や異臭がしたときは、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
-  本製品を取り付けたパソコン本体に、水などの液体や異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
-  本製品を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

注 意

-  本製品の取り付け、取り外しのときは、必ずパソコン本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。
-  本製品の取り付け、取り外しのときは、本製品に触れる前に金属性のもの（スチールデスク、ドアのノブなど）に手を触れて、静電気を除去してから作業をおこなってください。
静電気は本製品の破損の原因になります。
-  本製品および本製品を取り付けたパソコン本体を次のようなところで使用しないでください。
 - ・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
 - ・直射日光のあたるところ
 - ・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
 - ・静電気の発生するところ、火気の周辺
-  長期間、本製品を取り付けたパソコン本体を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。
そのまま使用すると、故障の原因になります。

重要なご注意

本製品を長時間利用すると高温になることがあります。長時間からだに触れていると低温やけどの恐れがあります。
また、取り外しの際は無理をせず、パソコンを終了し、しばらく経ってから取り外してください。

無線 LAN をご使用になるにあたってのご注意

- 無線 LAN は無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線 LAN をご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線 LAN を使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。
 - 本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。
 - ・本製品を分解したり、改造すること
 - ・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
 - ・本製品を日本国外で使用すること
- これらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線 LAN システムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。
 - 電子レンジの近くで本製品を使用すると無線 LAN の通信に影響を及ぼすことがあります。

もくじ

安全にお使いいただくために 4

Chapter 1 概要編 9

1 製品の保証について 10

2 サポートサービスについて 11

3 本製品の概要について 12

本製品の特長 12

4 各部の名称とはたらき 13

Chapter 2 導入編 15

1 ドライバのインストール 16

2 無線 LAN で接続する 21

Windows 8 の場合 22

Windows 7 の場合 26

Windows Vista の場合 29

Windows XP の場合 31

3 インターネットに接続する 33

Appendix 付録編 35

1 こんなときは 36

2 ドライバのアンインストール方法 38

3 補足事項 40

4 基本仕様 42

Chapter 1

概要編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

●保証期間

保証期間はご購入の日より1年間です。保証期間を過ぎた修理は有料になります。詳細については本製品に添付の別紙「はじめにお読みください」に記載されている「保証規定」をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、ご購入の販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、本製品に添付の別紙「はじめにお読みください」に記載されている「保証規定」をお確かめください。

●その他のご質問などに関して

P11「2.サポートサービスについて」をお読みください。

2 サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

サポートページ 6409.jp

ロジテック・テクニカルサポート(ナビダイヤル)

TEL : 0570-050-060

受付時間：月曜日～土曜日 10:00～19:00

(祝日営業)※ただし、夏期、年末年始の特定休業日は除きます。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行っておりません。
This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

テクニカルサポートにお電話される前に

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

- ・弊社製品の型番
 - ・インターネットに関するプロバイダ契約の書類
 - ・ご質問内容(症状、やりたいこと、お困りのこと)
- ※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

設定ポータルサイトでも、
本製品の設定について詳細な手順を確認できます。
「えれさぽ」で検索してください。



3 本製品の概要について

本製品の特長

●大型アンテナを搭載した高速無線子機

コンパクトなボディに全長 11cm を超える大型の外部アンテナを搭載した無線子機です。11n/g/b 規格に対応し、最大 300Mbps (理論値) での高速通信が可能です。大型アンテナの採用で、電波をキャッチしやすくなり、場所を選ばず安定した通信が可能です。

●OS 標準の無線 LAN 機能で簡単設定

Windows 8/7/Vista/XP に標準で搭載された無線 LAN 機能を使用します。本製品のドライバをインストール後、本製品を PC の USB ポートに取り付けて、OS 標準の無線 LAN 機能で簡単設定。インターネットへの接続確認も可能です。

●クリックひとつで無線 LAN 設定が完了する「WPS」に対応

WPS 対応 OS をご使用の場合で、無線親機が WPS に対応しているときは、暗号化のパスワードの入力設定が必要ありません。無線親機の WPS 機能を実行後、画面上でボタンをクリックするだけで設定が完了し、すぐに無線 LAN が使えるようになります。

WPS は、Wi-Fi アライアンスが制定した世界標準の機能ですので、メーカーに依存することなく、安心してご使用いただけます。

●伝送方式に OFDM 方式を採用

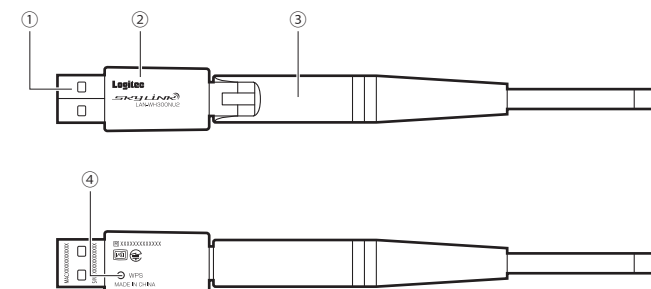
IEEE802.11n/g は、伝送方式に OFDM (Orthogonal Frequency Division Multiplexing = 直交周波数分割多重) 方式を採用しています。この方式はデータを多重化して送信するマルチキャリア伝送方式で伝送特性の劣化を軽減することができ、安定したデータ伝送を可能にする伝送方式です。

※ IEEE802.11b (11Mbps) は DS-SS 方式 (直接拡散スペクトラム方式) を採用しています。

●各種無線セキュリティ機能に対応

より高度なセキュリティ方式である WPA-PSK (TKIP) / WPA2-PSK (AES) に対応しています。WPA では、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更しますので、外部からの不正解読が困難になっています。また、従来からある WEP (128/64bit) にも対応しています。

4 各部の名称とはたらき



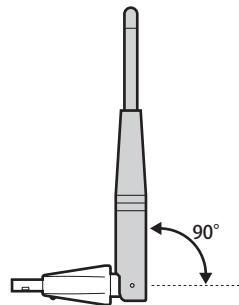
番号	名称	はたらき
①	USB コネクタ	パソコンの USB ポートに接続します。
②	LINK/ACT ランプ (青色)	ゆっくり点滅：本製品の電波出力がオフの状態です。 点滅：無線親機とリンクしています。 消灯：無線親機とリンクできていない状態です。
③	外部アンテナ	電波をより強く、安定して送受信するためのアンテナです。 電波の感度を上げるために角度を変えて調整できます。 可動範囲については、P14「 外部アンテナの可動範囲 」をご参照ください。
④	WPS 設定ボタン	無線親機と自動接続するための WPS 機能を実行するときに押します。 ※ Windows XP の OS 標準のワイヤレスネットワーク接続は、WPS 機能に対応していないため、このボタンは使用できません。

■外部アンテナの可動範囲

ご注意：可動範囲を超えてアンテナを動かすとアンテナが破損する恐れがあります。

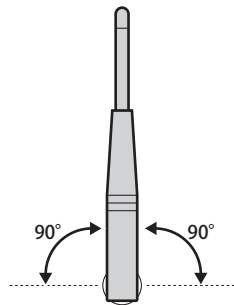
●垂直方向の可動範囲

本体と 90°に直交した状態を中心 に 90°の範囲で可動します。



●水平方向の可動範囲

アンテナを垂直に立てた状態を中心 に左右各 90°の範囲で可動します。



Chapter 2

導入編

まずはここをお読みください

ここでは、本製品を無線子機として使用するためにパソコンの USB ポートに取り付け、無線親機と接続するための導入手順を説明しています。

1 ドライバのインストール

本製品をパソコンに接続し、無線子機として使用する場合のドライバのインストール方法を説明します。付属のCD-ROMから必要なドライバをインストールしてください。



注意

●本製品(無線アダプタ)をパソコンに接続しないでください

ドライバのインストールが完了するまで、本製品をパソコンに接続しないでください。ドライバをインストールする前に本製品を接続すると正常に動作しません。

本製品をまだ取り付けしないでください！



●無線機能内蔵のパソコンをご使用の場合

内蔵の無線機能をオフにしてから作業を始めてください。

1 本製品を接続するパソコンを起動します。起動時は、ご使用のOSにあわせて、以下の権限を持つユーザーでログオンしてください。

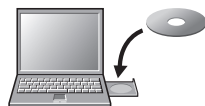
■Windows 8/7/Vistaの場合→「管理者」権限を持つユーザーでログオン

■Windows XPの場合→「コンピュータの管理者」権限を持つユーザーでログオン



ユーザー権限は、「コントロールパネル」のユーザーアカウントで調べることができます。もし、ログオン中のアカウントに管理者権限がない場合は、管理者権限のあるアカウントで再ログオンしてください。現在のユーザーの権限の確認方法は、P40「Windowsのユーザー権限の確認方法」をお読みください。

2 付属のCD-ROMをパソコンのドライブに挿入します。



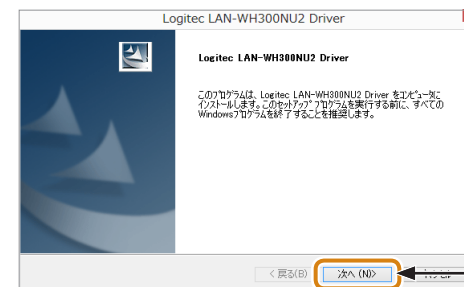
・自動的にインストーラーが表示されます。



〈ユーザーアカウント制御〉画面が表示されたとき (Windows 8/7/Vista)

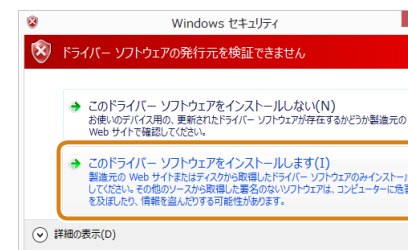
Windows 8/7の場合は「はい」を、Windows Vistaの場合は「続行」をクリックします。

3 「次へ」をクリックします。



クリック

4 「このドライバー ソフトウェアをインストールします」をクリックします。



クリック

・Windows XPで「Windows ログテスト」に関する画面が表示された場合は、「続行」をクリックします。

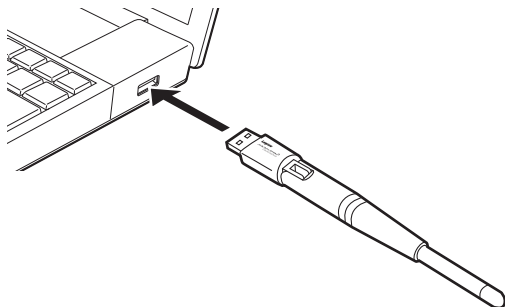
5 「完了」をクリックします。



クリック

・パソコンが再起動したら、次の手順へ進みます。

6 本製品をパソコンのUSBポートに差し込みます。



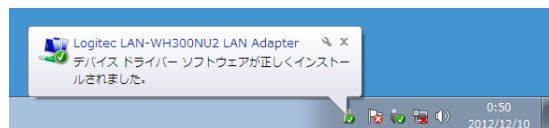
- 本製品を差し込むと、自動的にセットアップが始まります。

7 ご使用のOSによって、このあとの手順が異なります。

■ Windows 8の場合

自動的にセットアップが完了します。手順 **8** へ進みます。

■ Windows 7/Vistaの場合



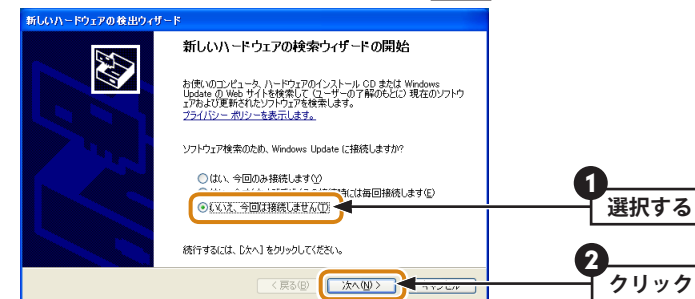
しばらくすると、自動的にドライバのインストールが完了します。手順 **8** へ進みます。

■ Windows XPの場合

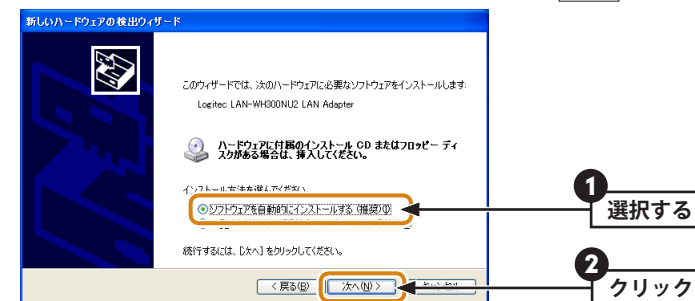
ウィザードによるインストール画面が表示された場合は、手順**1**～**6**を実行します。表示されなかった場合は、手順 **8** へ進みます。

1 **2**の画面が表示される前に、「Windowsロゴテスト」に関する画面(**4**と同じ)が表示された場合は、手順**6**の操作が終わるまで、そのままにしておきます。

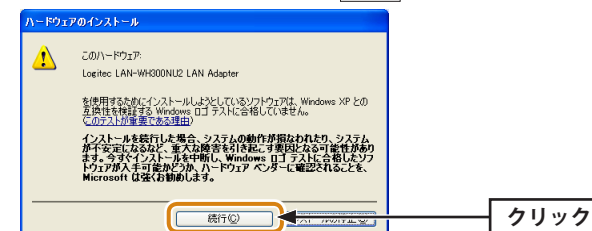
2 「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックします。



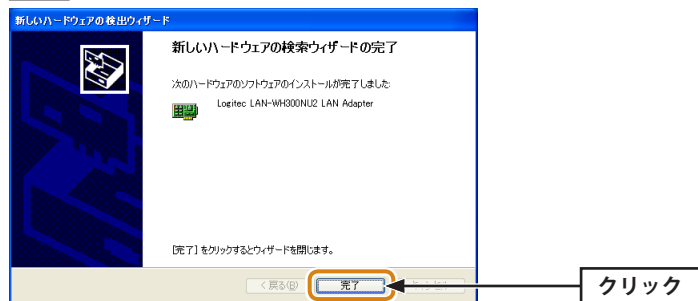
3 「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択し、「次へ」をクリックします。



4 以下の画面が表示された場合は、「続行」をクリックします。



5 「完了」をクリックします。



6 ①の「Windowsロゴテスト」に関する画面が表示されたままの場合は、「続行」をクリックします。ウィザードが終了しますので、手順 8 へ進みます。

8 正しくインストールされたことを確認します。

- デスクトップ画面右下のタスクバー（タスクトレイ）に[ワイヤレスネットワーク接続]アイコンが表示されます。



※ Windows 8はデスクトップ画面のタスクバーに表示されます。

※ Windows 8/7でタスクトレイにアイコンが見つからない場合は、▼をクリックして開いてみてください。

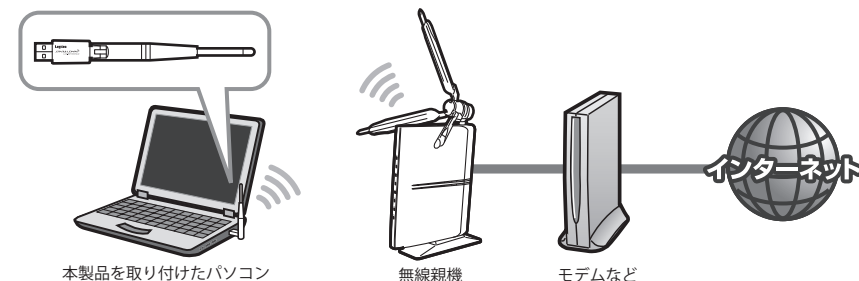


- パソコンによっては再起動を促されますが、アイコンが表示されることを確認するまでは再起動しないでください。
- ご利用のパソコンに無線LAN機能が内蔵されている場合は、上記アイコンが最初から表示されている場合があります。本製品での接続をおこなう場合は、内蔵されている無線LAN機能をあらかじめ無効にしておく必要があります。内蔵の無線LAN機能を無効にする方法については、ご利用のパソコンメーカーにご確認ください。

9 P21「2.無線LANで接続する」へ進みます。

2 無線LANで接続する

用意した無線親機を経由して、本製品からインターネットに接続できるようにします。設定手順はOSごとに異なります。



■ご利用の無線親機がWPSに対応していない場合

あらかじめ、ご利用になる無線親機がWPSに対応していないことがわかっている場合は、暗号化設定の暗号（パスワード）をメモしておいてください。

※暗号は、ご利用の製品によって呼び名が異なります。パスワードのほか、パスフレーズ、暗号キーなどの呼び方があります。

このあとは、ご利用になるOSに合わせて該当ページをお読みください。

■ Windows 8の場合→P22

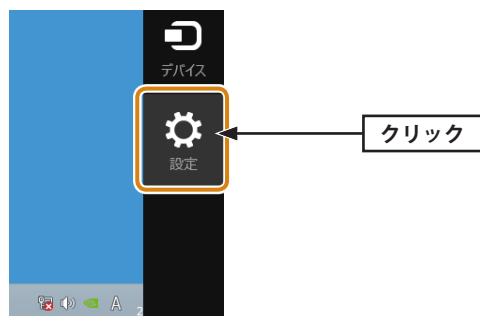
■ Windows 7の場合→P26

■ Windows Vistaの場合→P29

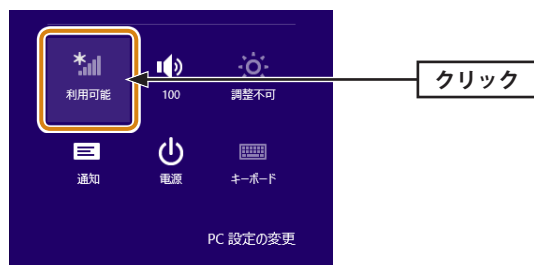
■ Windows XPの場合→P31

Windows 8の場合

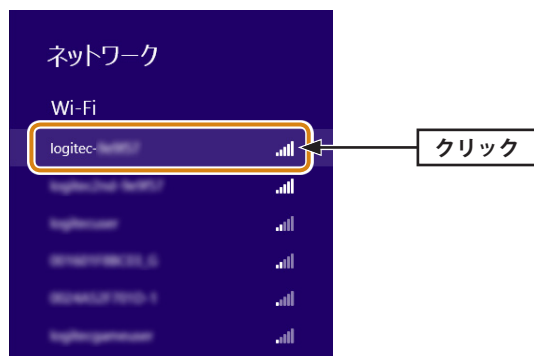
- 1 右下にカーソルを移動してチャームを表示し、[設定]をクリックします。



- 2 無線アイコンをクリックします。



- 3 一覧から接続先のSSIDをクリックします。



- 表示されるSSIDの名称や数は、ご使用の環境によって異なります。

- 4 **接続** をクリックします。



- 5 表示された画面の内容にあわせて、作業を進めてください。

A 無線親機がWPS機能に対応している場合

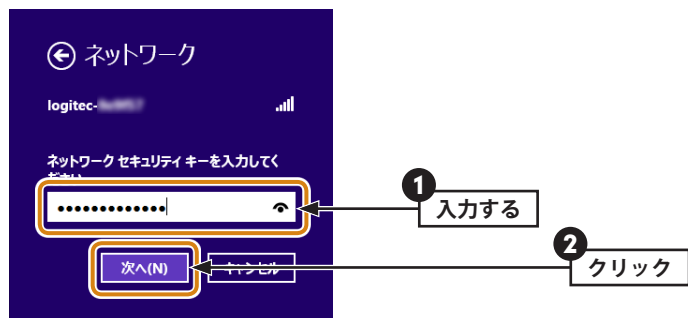


⇒無線親機のWPSボタンを押します。自動的に無線親機からの情報を取得します。

- WPS機能を利用する場合、[セキュリティキー]の入力は不要です。

※無線親機がWPS機能に対応している場合でも、相性等の問題でWPS機能が使えずBの画面が表示されることがあります。この場合は、Bの説明をお読みください。

B 無線親機がWPS機能に対応していない場合



⇒無線親機に設定された暗号キーを入力し、「次へ」をクリックします。

- 暗号キーは、パスワード、パスフレーズ等、無線親機のメーカーや機種によって名称が異なります。
-  をクリックすると暗号キーの文字を確認できます。
- ロジテック製Wi-Fiルーターをご使用の場合は、付属の設定情報シールで暗号キーを確認できます。

6 共有機能をオンにするかを決めます。該当するほうをクリックします。



- パソコン間でデータを共有する場合は「はい、共有をオンにしてデバイスに接続します」を選択します。共有しない場合は「いいえ、共有をオンにせずデバイスに接続しません」を選択します。

7 正常に無線LAN (Wi-Fi) 接続およびインターネットに接続できると、「接続済み」と表示されます。



- インターネットに接続できない環境では、「制限あり」と表示されます。

8 これで設定は完了です。Webブラウザを使って、インターネットに接続できるかを確認します。P33「3.インターネットに接続する」へ進みます。

Windows 7 の場合

- 1** 画面右下のタスクトレイにあるアイコンをクリックし、接続先一覧を表示します。



- 2** 一覧から接続先のSSIDをクリックします。



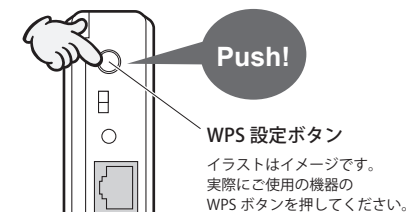
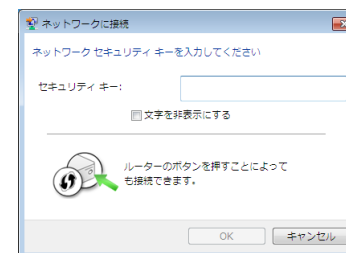
- 表示されるSSIDの名称や数は、ご使用の環境によって異なります。

- 3** **接続** をクリックします。



- 4** 表示された画面の内容にあわせて、作業を進めてください。

A 無線親機がWPS機能に対応している場合



⇒無線親機のWPSボタンを押します。自動的に無線親機からの情報を取得します。

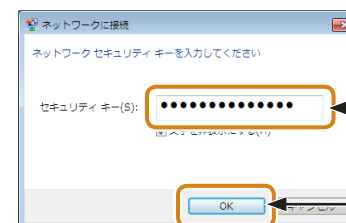
- WPS機能を利用する場合、[セキュリティキー]の入力は不要です。

※無線親機がWPS機能に対応している場合でも、相性等の問題でWPS機能が使えずBの画面が表示されることがあります。この場合は、Bの説明をお読みください。



〈ネットワークの場所の設定〉画面が表示された場合は、ご使用のネットワーク環境にあわせて設定してください。

B 無線親機がWPS機能に対応していない場合



⇒[セキュリティキー]に、無線親機に設定された暗号キーを入力し、**OK** をクリックします。

- 暗号キーは、パスワード、パスフレーズ等、無線親機のメーカーや機種によって名称が異なります。
- ロジテック製Wi-Fiルーターをご使用の場合は、付属の設定情報シールで暗号キーを確認できます。

- 5** タスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続」アイコンをクリックし、接続先のSSIDに「接続」と表示されていることを確認します。



- 6** これで設定は完了です。Web ブラウザを使って、インターネットに接続できるかを確認します。P33「3.インターネットに接続する」へ進みます。

Windows Vista の場合

- 1** 画面右下のタスクトレイにある[ワイヤレスネットワーク接続]のアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから[ネットワークに接続]を選択します。



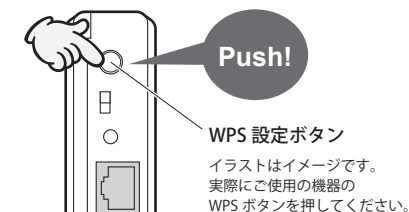
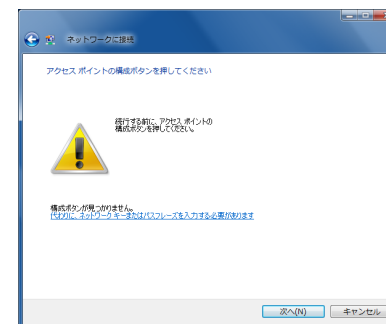
- 2** 一覧から接続先のSSIDを選択し、**接続** をクリックします。



- 表示される SSID の名称や数は、ご使用の環境によって異なります。

- 3** 表示された画面の内容にあわせて、作業を進めてください。

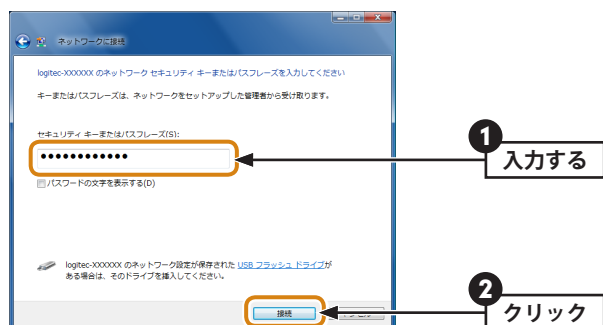
A 無線親機が WPS 機能に対応している場合



⇒無線親機の WPS ボタンを押します。自動的に無線親機からの情報を取得します。

※無線親機が WPS 機能に対応している場合でも、相性等の問題で WPS 機能が使えず **B** の画面が表示されることがあります。この場合は、**B** の説明をお読みください。

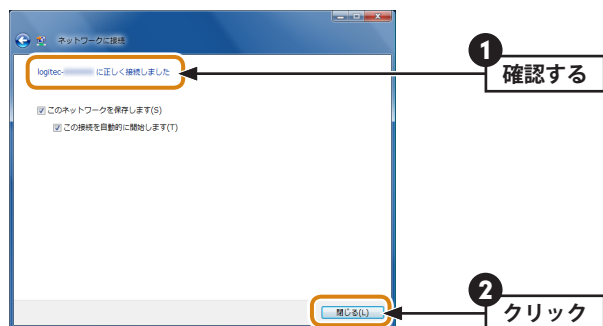
B 無線親機がWPS機能に対応していない場合



⇒[セキュリティまたはパスフレーズ]に、無線親機に設定された暗号キーを入力し、[接続]をクリックします。

- ・暗号キーは、パスワード、パスフレーズ等、無線親機のメーカーや機種によって名称が異なります。
- ・ログテック製Wi-Fiルータをご使用の場合は、付属の設定情報シールで暗号キーを確認できます。

4 「(接続先のSSID名)に正しく接続しました」と表示されます。[閉じる]をクリックします。



〈ネットワークの場所の設定〉画面が表示された場合は、ご使用のネットワーク環境にあわせて設定してください。

5 これで設定は完了です。Web ブラウザを使って、インターネットに接続できるかを確認します。P33「3.インターネットに接続する」へ進みます。

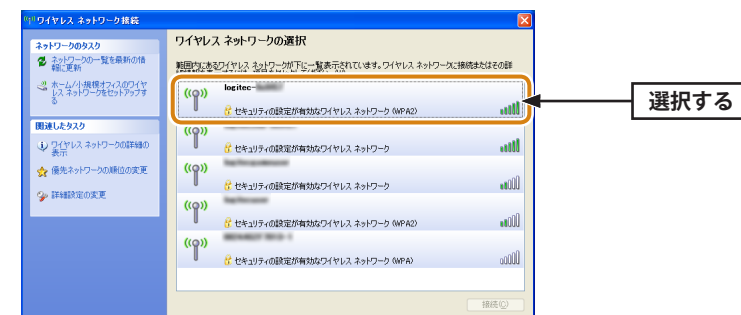
Windows XP の場合

1 Windows XPの画面右下のタスクトレイにある[ワイヤレスネットワーク接続]のアイコンをクリックします。



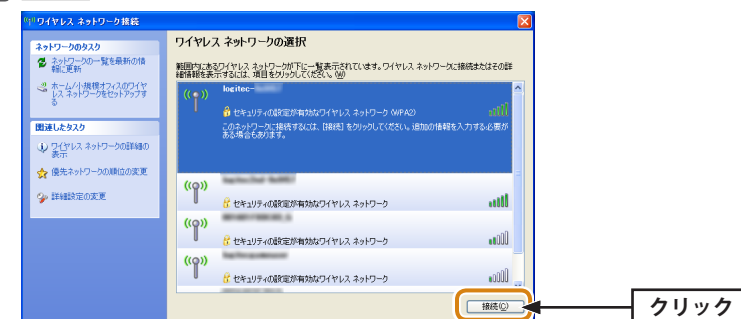
「このワイヤレス接続を構成できません。」と表示された場合
別の無線子機用のユーティリティがインストールされている可能性があります。ユーティリティに「ゼロコンフィグレーション」を使用する機能がある場合は、その機能を利用します。機能がない場合は、ユーティリティをアンインストールしてから、本製品を使用してください。切り替え方法およびアンインストール方法は、ユーティリティの説明書をお読みください。

2 一覧から接続先のSSIDを選択します。



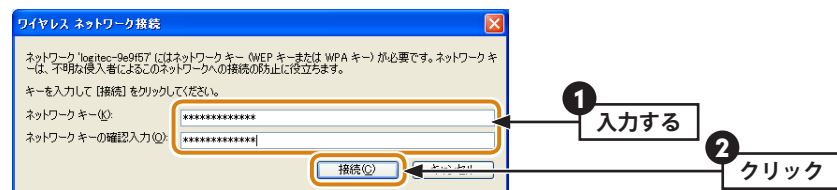
- ・表示されるSSIDの名称や数は、ご使用の環境によって異なります。

3 [接続]をクリックします。



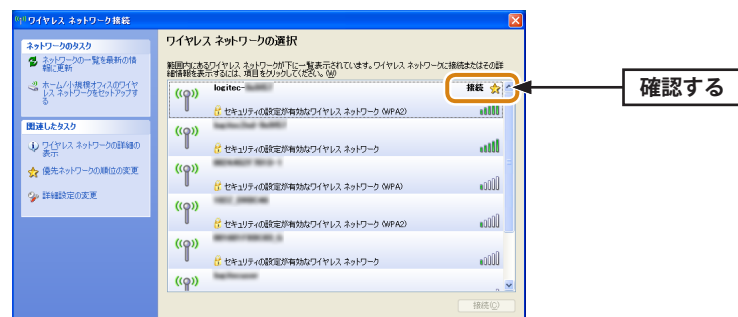
4 [ネットワークキー]に、本製品の暗号キーを入力します。

[ネットワークキーの確認入力]にもう一度、同じ暗号キーを入力し、**接続**をクリックします。



- 暗号キーは、パスワード、パスフレーズ等、無線親機のメーカーや機種によって名称が異なります。
- ロジテック製Wi-Fiルータをご使用の場合は、付属の設定情報シールで暗号キーを確認できます。

5 接続先のSSIDに「接続☆」と表示されていることを確認します。



6 これで設定は完了です。Web ブラウザを使って、インターネットに接続できるかを確認します。次ページ「3. インターネットに接続する」へ進みます。

3 インターネットに接続する

OS標準の無線LAN設定は、無線LAN接続後に、インターネットへの接続が可能であるかのチェックをする場合がありますが、ここではPCのWebブラウザからの確認方法を説明します。

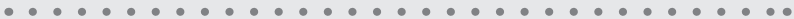
1 Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。

2 Webブラウザからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。



ロジテック Web サイト <http://www.logitech.co.jp/>

Appendix



付録編

1 こんなときは

●[WPS] ボタンを押しても無線親機につながらない。(無線ルータからIPアドレスが割り振られない)

次のようなことが考えられますので、確認してください。

- ①本製品を取り付けたまま、パソコンを再起動してみてください。
- ②パソコンに内蔵されている無線LAN機能は、無効になるように設定してください。無線LAN機能を無効にする方法は、パソコンに付属の説明書をお読みください。また、本製品以外の外付け無線子機(無線アダプタ)を同時に使用しないでください。
- ③近くに電子レンジやコードレス電話、またはBluetoothなど、「2.4GHz」帯の電波を使用する機器があると、電波干渉が発生し、正常に接続できない場合があります。周囲にそのような機器があれば、使用を一時中止したり、電源を切ってください。

●インターネットにつながらない。(IPアドレスは割り振られているが、つながらない)

次のようなことが考えられますので、確認してください。

- ①無線ルータの設定が正しくされているか確認してください。無線ルータに有線LANで接続したパソコンからインターネットに接続が可能かを確認してください。
- ②無線LANの暗号化設定が正しいか、もう一度確認してください。
- ③無線LANにつながる場合は、本製品を取り付けたパソコンに正しくIPアドレスが割り振られているかを確認してください。クライアントユーティリティのメイン画面のステータスに「IPアドレス」が表示されます。IPアドレスが正しく割り振られていない場合は、「169.254.xxx.xxx」のように表示されます。このような場合は、もう一度、[P21「2.無線LANで接続する」](#)の作業をやり直してください。

●通信速度において最大300Mbps相当の速度が出ません。

以下のようなことが考えられます。

無線親機が最大300Mbps対応でない場合は、無線親機の最大速度以上は出ません。

※最大300Mbpsは理論値であり、スループット値とは異なります。

●電波状態が不安定です。(つながったり、切れたりする)

次のようなことが考えられますので、確認してください。

- ①本製品と無線親機の距離を近づけて使用してみてください。近づけると安定する場合は、距離が遠すぎたり、あいだに電波をさえぎる物があると考えられますので確認してください。
- ②近くに電子レンジやコードレス電話、またはBluetoothなど、「2.4GHz」帯の電波を使用する機器があると、電波干渉が発生し、正常に接続できない場合があります。周囲にそのような機器があれば、使用を一時中止したり、電源を切ってください。

- ③Windows Vistaでは、サービスパック (SP) のバージョンが「SP1」以降である必要があります。Windows XPでは、「SP3」以降である必要があります。ご使用のWindowsのサービスパックのバージョンを確認し、該当以前のサービスパックのWindowsをご使用の場合は、アップデートを実行してください。
- ④無線親機のチャンネルを変更してみてください。変更方法は、無線親機のマニュアルをお読みください。
- ⑤本製品のドライバをアンインストールし、もう一度インストールしてください。ドライバをアンインストールする方法は、[P38「2.ドライバのアンインストール方法」](#)をお読みください。
- ⑥Windowsのファイアウォール関係の設定で、ワイヤレスネットワーク (本製品：LAN-WH300NU2) に関するファイアウォール機能を解除してみてください。



ファイアウォール設定画面の表示手順

※コントロールパネルがクラシック表示の場合は、表示が多少異なります。

●Windows 8の場合

- ①スタートメニューでマウスを右クリックします。
- ②画面左下方に表示された[すべてのアプリ]をクリックします。
- ③[コントロールパネル]をクリックします。
- ④[システムとセキュリティ]をクリックします。
- ⑤[Windows ファイアウォール]をクリックします。
- ⑥画面左メニューの[Windowsのファイアウォールの有効化または無効化]をクリックします。
- ⑦[プライベートネットワークの設定]にある[Windows ファイアウォールを無効にする (推奨されません)]を選択し、[OK]をクリックします。

●Windows 7/Vistaの場合

[スタート]→[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ (Windows Vista：セキュリティ)]で[Windows ファイアウォールの無効化]を選択します。「無効 (推奨されません)」を選択し、[OK]をクリックします。

●Windows XP SP3以降の場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[セキュリティセンター]で[Windows ファイアウォール]を選択します。「無効 (推奨されません)」を選択し、[OK]をクリックします。

- ⑦セキュリティソフトをご使用の場合は、ご使用のセキュリティソフトの説明書をお読みになり、ファイアウォール機能をいったん停止してください。

2 ドライバのアンインストール方法

本製品を正しく認識しない場合は、いったん本製品のドライバをアンインストールしてから、再度インストールしてください。

1 ご使用のパソコンでプログラムのアンインストール画面を表示します。

● Windows 8 の場合

- 1 スタート画面で右クリックし、画面下の[すべてのアプリ]をクリックします。
- 2 「Windows システムツール」にある[コントロールパネル]をクリックします。
- 3 「プログラム」にある[プログラムのアンインストール]をクリックします。

※すべての項目が表示されている場合は、[プログラムと機能]をクリックします。

● Windows 7/Vista の場合

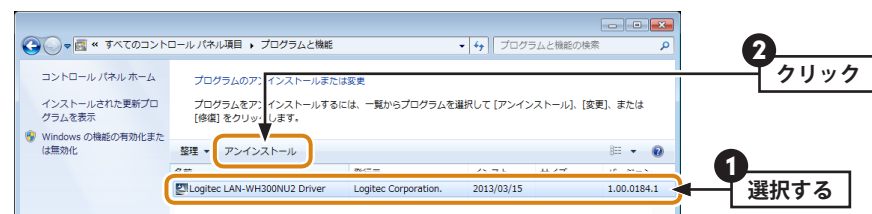
- 1 [スタート]→[コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2 「プログラム」にある[プログラムのアンインストール]をクリックします。

※すべての項目が表示されている場合は、[プログラムと機能]をクリックします。

● Windows XP の場合

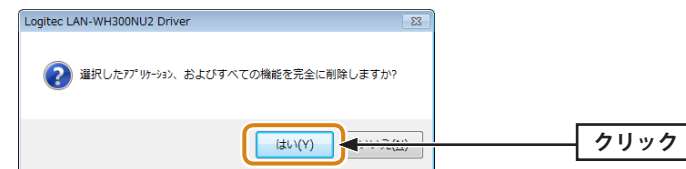
- 1 [スタート]→[コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2 [プログラムの追加と削除]をクリックします。

2 リストの中から、「Logitech LAN-WH300NU2 Driver」を選択し、[アンインストール]をクリックします。



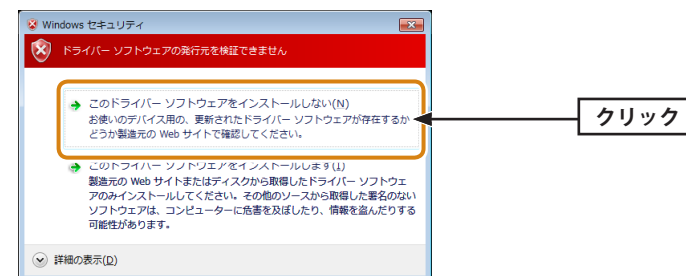
• Windows XP では [削除] をクリックします。

3 はい をクリックします。



※画面は OS によって異なります。

4 以下の画面が表示された場合は、[このドライバー ソフトウェアをインストールしない]をクリックします。



5 完了のメッセージが表示されますので、[完了] をクリックします。

• これでアンインストールは完了です。

3 補足事項

Windowsのユーザー権限の確認方法

Windowsにログオン中の現在のユーザー権限は、以下の方法で確認することができます。ログオン中のユーザーに管理者権限がない場合は、管理者権限のあるユーザーでログオンするか、現在のユーザーの権限を変更してください。

● Windows 8の場合

- ① スタート画面で右クリックし、画面下の[すべてのアプリ]をクリックします。
- ② 「Windows システムツール」にある[コントロールパネル]をクリックします。
- ③ [ユーザー アカウントとファミリー セーフティ]→[ユーザー アカウント]の順でクリックします。
- ④ 表示された画面の右側にアカウント名と権限が表示されます。
 - ・ 権限が「Administrator」になっていることを確認します。※権限が異なる場合は、アカウントの種類を「Administrator」に変更してください。

● Windows 7/Vistaの場合

- ① [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。
- ② [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]→[ユーザー アカウント]の順でクリックします。
- ③ 表示された画面の右側にアカウント名と権限が表示されます。
 - ・ 権限が「Administrator」になっていることを確認します。※権限が異なる場合は、アカウントの種類を「Administrator」に変更してください。

● Windows XPの場合

- ① Windowsのデスクトップ画面左下の[スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。
 - ・ リストの右上に現在ログオン中のアカウント名が表示されますのでメモします。

(カテゴリ表示の場合)

- ② [ユーザーアカウント]をクリックします。
- ③ 「コントロールパネルを選んで実行します」の[ユーザーアカウント]をクリックします。
- ④ 「変更するアカウント」の下に、アカウントが一覧で表示されます。ログオンしているアカウントが「コンピュータの管理者」となっていることを確認します。

(クラシック表示の場合)

- ② [ユーザーアカウント]をダブルクリックします。
- ③ 「変更するアカウント」の下に、アカウントが一覧で表示されます。ログオンしているアカウントが「コンピュータの管理者」となっていることを確認します。
- ④ アカウントの変更(アカウントを変更する)をクリックします。

4 基本仕様

インターフェイス	USB2.0/1.1
規格	IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b / ARIB STD-T66
周波数帯域	2.412～2.472GHz (中心周波数)
チャンネル	1～13ch
伝送方式	11n：MIMO-OFDM方式、11g：OFDM方式、11b：DS-SS方式
データ転送速度(理論値)	11n接続時：最大300Mbps(送信2×受信2)、 11g：54/48/36/24/18/12/9/6Mbps、11b：11/5.5/2/1Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャ/アドホック
送信出力	10mW/MHz以下
セキュリティ	WEP (64/128ビット)、WPA-PSK (TKIP)、WPA2-PSK (AES)
環境条件	温度：0～40℃、湿度：20～80% (結露なきこと)
設定方式	WPS (ボタン搭載) ※ソフトウェアでも設定可能
入力電圧	5.0V
消費電流(定格)	230mA
外形寸法	幅15×奥行15×高さ150mm (突起物含まず)
質量	13g

- 対応機種：以下のOSに対応したWindowsマシン
 Windows 8 (32/64bit)、Windows 7 SP1～(32/64bit)、
 Windows Vista SP2～(32bit)、Windows XP SP3～

IEEE802.11n/g/b準拠 無線LANアダプタ LAN-WH300NU2
 ユーザーズマニュアル

発行  ロジテック株式会社 2013年3月18日 第1版

©2013 LOGITEC CORPORATION. All rights reserved.

